青空文庫 (6)「源氏物語」夕顔 (15) 紫式部 [行書体] 與謝野晶子訳　　月　　日　名前

なぞって練習

よく使い込んであって、
よい薫物の香のする扇
に、きれいな字で歌が
書かれてある。

心あてにそれかとぞ見
る白露の光添へたる夕
顔の花

散らし書きの字が上品
に見えた。少し意外
だった源氏は、風流遊
戯をしかけた女性に好
感を覚えた。

■参考
※薫物【たきもの】
（青空文庫のフリガナより）

copyright (c) まる字の無料ペン字練習と漢字検定テキスト集 all right reserved.